

平成24年9月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成24年1月31日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 夢真ホールディングス
 コード番号 2362 URL <http://www.yumeshin.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長

(氏名) 佐藤 真吾

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 矢島 英一

TEL 03-5981-0672

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期第1四半期の連結業績(平成23年10月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第1四半期	2,663	94.6	269	65.2	282	51.7	177	73.4
23年9月期第1四半期	1,368		163		186		102	

(注) 包括利益 24年9月期第1四半期 191百万円 (78.8%) 23年9月期第1四半期 106百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年9月期第1四半期	3.03	
23年9月期第1四半期	1.67	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
24年9月期第1四半期	6,929		1,870		23.9
23年9月期	6,629		1,757		23.5

(参考) 自己資本 24年9月期第1四半期 1,659百万円 23年9月期 1,560百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年9月期		1.00		1.00	2.00
24年9月期					
24年9月期(予想)		1.50		1.50	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年9月期の連結業績予想(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,300	84.7	600	64.8	600	64.2	300	87.1	5.00
通期	11,000	61.4	1,250	130.3	1,350	199.1	700	584.7	11.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年9月期1Q	74,573,440 株	23年9月期	74,573,440 株
期末自己株式数	24年9月期1Q	16,031,584 株	23年9月期	15,891,584 株
期中平均株式数(四半期累計)	24年9月期1Q	58,589,030 株	23年9月期1Q	61,469,269 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) 重要な後発事象	10
4. 補足情報	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災や原発事故の影響による景気の落ち込みから、緩やかな持ち直し傾向が見られました。しかしながら、海外経済の減速や円高に加え、タイの洪水の影響もあり、依然として厳しい状況で推移しております。

建設業界におきましては、公共事業の減少、民間設備投資の手控えは続いているものの、住宅ローン減税を背景に首都圏にてマンション販売が堅調に推移し、新設マンション着工戸数も緩やかな回復を見せております。また、東北復興に備え、各ゼネコンが東北支店への技術者増員を行っていることで、首都圏の技術者が不足する事態が生じております。

エンジニア派遣事業における顧客企業が属する自動車・電気機器・半導体等の製造業界におきましては、在庫調整等により生産回復の兆しが見受けられました。しかしながら、景気の先行きが不透明であるため、一部研究開発費の削減や採用の抑制が続いております。

このような事業環境の下、当社グループでは、建築技術者派遣事業において、建築技術者の首都圏での需要拡大、東北復興の本格化に備え、採用活動を強化してまいりました。同時に新規顧客を中心に積極的な営業活動を行い、未稼働技術者を増やすことなく技術者数の底上げを行ってまいりました。

また、自動車、電気機器、半導体等の各分野へのエンジニア派遣事業において、営業の効率化及びコスト削減の徹底を図ってまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高2,663百万円（前年同四半期比94.6%増）、営業利益269百万円（前年同四半期比65.2%増）、経常利益282百万円（前年同四半期比51.7%増）、四半期純利益177百万円（前年同四半期比73.4%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①建築技術者派遣事業

当社グループの中核事業であります建築技術者派遣事業におきましては、新設マンション着工戸数の回復、東日本大震災の影響による首都圏近郊での改修・補修工事、耐震補強工事等の増加、さらに首都圏での技術者不足の影響により、技術者派遣の需要は大きくなっております。その結果、当第1四半期連結累計期間の平均稼働率は99.1%と前年同期平均98.2%と比較し0.9ポイントの増加となりました。また、東北復興に備え注力している採用活動の効果等により、平成23年12月末現在の技術者数は916名となり、前年同月末793名と比較し123名増加いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,495百万円（前年同四半期比16.2%増）、セグメント利益は247百万円（前年同四半期比15.4%増）となりました。

②エンジニア派遣事業

エンジニア派遣事業におきましては、主要顧客である自動車、電機、精密機械メーカー等、製造業各社において、東日本大震災の影響による生産の落ち込みから、回復基調にありました。しかしながら先行きに関しましては、円高、電力不足、海外景気の減速等により不透明となっております。

このような事業環境の下、技術者の増員・新規顧客の開拓を柱とした営業施策を実施するとともに、販管費の削減を進めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,072百万円、セグメント利益は85百万円となりました。

③子育て支援事業

子育て支援事業におきましては、待機児童が多く、保育サービスの需要が高い東京都において認証保育所を、神奈川県において横浜保育室を計3園運営しております。また、保育士派遣事業を実施しており、施設・人材両面からの子育てサポート行っております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は70百万円（前年同四半期比13.6%減）、セグメント利益は7百万円（前年同四半期は3百万円のセグメント損失）となりました。

④医療介護支援事業

医療介護支援事業におきましては、高齢社会が進む中、医療介護支援サービスのニーズの増加を背景に、より良い医療介護支援サービスを提供することを目的としております。当第1四半期連結累計期間末において、デイサービス施設を東京都文京区及び板橋区にて運営しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は26百万円（前年同四半期売上高は0.4百万円）、セグメント損失は6百万円（前年同四半期は8百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間における総資産の残高は、前連結会計年度末に比べて299百万円増加し、6,929百万円となりました。これは主に現金及び預金の増加276百万円等によるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間における負債の残高は、前連結会計年度末に比べて186百万円増加し、5,059百万円となりました。これは主に社債の減少1,240百万円、借入金の増加1,572百万円等によるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べて112百万円増加し、1,870百万円となりました。これは主に四半期純利益177百万円、剰余金の配当58百万円、自己株式の取得19百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間の業績は、概ね計画通り進捗しており、第2四半期連結累計期間及び通期業績につきましては、平成23年10月31日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,304,430	2,581,152
受取手形及び売掛金	1,425,242	1,424,082
有価証券	777	2,351
たな卸資産	1,324	986
その他	259,546	230,935
貸倒引当金	△74,374	△71,824
流動資産合計	3,916,946	4,167,683
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	761,042	751,723
その他(純額)	626,473	622,779
有形固定資産合計	1,387,516	1,374,503
無形固定資産		
のれん	717,591	693,934
その他	41,418	38,128
無形固定資産合計	759,009	732,062
投資その他の資産		
その他	613,565	702,223
貸倒引当金	△47,388	△47,215
投資その他の資産合計	566,177	655,008
固定資産合計	2,712,703	2,761,574
資産合計	6,629,650	6,929,258
負債の部		
流動負債		
買掛金	9,606	10,541
短期借入金	26,000	1,312,000
1年内返済予定の長期借入金	929,164	733,123
1年内償還予定の社債	1,240,000	—
未払法人税等	112,121	58,416
賞与引当金	231,488	98,046
役員賞与引当金	20,000	—
その他	831,849	905,235
流動負債合計	3,400,228	3,117,363
固定負債		
長期借入金	1,088,407	1,570,907
退職給付引当金	266,441	258,990
資産除去債務	2,879	3,204
その他	114,449	108,761
固定負債合計	1,472,177	1,941,863
負債合計	4,872,406	5,059,227

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	805,147	805,147
資本剰余金	867,545	867,545
利益剰余金	1,669,909	1,788,946
自己株式	△1,770,226	△1,789,758
株主資本合計	1,572,374	1,671,879
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△11,594	△12,496
その他の包括利益累計額合計	△11,594	△12,496
新株予約権	3,142	3,142
少数株主持分	193,321	207,504
純資産合計	1,757,243	1,870,030
負債純資産合計	6,629,650	6,929,258

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)
売上高	1,368,755	2,663,996
売上原価	944,639	1,924,486
売上総利益	424,115	739,510
販売費及び一般管理費	260,752	469,647
営業利益	163,363	269,862
営業外収益		
受取利息	612	917
受取配当金	5	1,669
受取家賃	18,887	19,356
補助金収入	22,793	29,997
その他	4,411	9,321
営業外収益合計	46,709	61,261
営業外費用		
支払利息	14,691	16,257
賃貸収入原価	6,334	6,538
社債償還損	—	15,266
その他	2,606	10,301
営業外費用合計	23,632	48,364
経常利益	186,440	282,759
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1,394	—
特別利益合計	1,394	—
特別損失		
投資有価証券売却損	358	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,410	—
特別損失合計	1,768	—
税金等調整前四半期純利益	186,066	282,759
法人税、住民税及び事業税	209	55,686
法人税等調整額	83,889	35,170
法人税等合計	84,099	90,857
少数株主損益調整前四半期純利益	101,967	191,902
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△520	14,183
四半期純利益	102,487	177,719

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	101,967	191,902
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,847	△901
その他の包括利益合計	4,847	△901
四半期包括利益	106,815	191,000
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	107,335	176,817
少数株主に係る四半期包括利益	△520	14,183

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

1 前第1四半期連結累計期間(自平成22年10月1日至平成22年12月31日)

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	建築技術者 派遣事業	子育て 支援事業	医療介護 支援事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	1,286,893	81,411	450	1,368,755	1,368,755
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,286,893	81,411	450	1,368,755	1,368,755
セグメント利益又は セグメント損失(△)	214,349	△3,186	△8,512	202,650	202,650

② 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	202,650
のれんの償却額	△867
全社損益(注)	△15,342
四半期連結損益計算書の経常利益	186,440

(注) 全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない、当社の管理部門にかかる収益及び費用です。

③ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

2 当第1四半期連結累計期間(自平成23年10月1日至平成23年12月31日)

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	建築技術者 派遣事業	エンジニア 派遣事業	子育て 支援事業	医療介護 支援事業	計	
I 売上高及び営業損益						
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,495,268	1,072,260	70,302	26,165	2,663,996	2,663,996
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,495,268	1,072,260	70,302	26,165	2,663,996	2,663,996
セグメント利益 又は損失(△)	247,281	85,874	7,924	△6,374	334,705	334,705

② 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	334,705
のれんの償却額	△20,665
全社費用(注)	△31,280
四半期連結損益計算書の経常利益	282,759

(注) 全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない、当社の管理部門にかかる収益及び費用です。

③ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本準備金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
前連結会計年度末残高	805,147	867,545	1,669,909	△1,770,226	1,572,374
当第1四半期連結累計期間末 までの変動額					
剰余金の配当			△58,681		△58,681
四半期純利益			177,719		177,719
自己株式の取得 ※				△19,532	△19,532
当第1四半期連結累計期間末 までの変動額合計	—	—	119,037	△19,532	99,505
当第1四半期連結累計期間末 残高	805,147	867,545	1,788,946	△1,789,758	1,671,879

※ 平成23年7月11日の取締役会決議に基づき、140,000株取得いたしました

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。

4. 補足情報

各会計期間における業績予想対比について

(1) 連結

(単位：百万円)

	第1四半期会計期間		第2四半期会計期間		第3四半期会計期間		第4四半期会計期間	
	売上高	経常利益	売上高	経常利益	売上高	経常利益	売上高	経常利益
予想値 (A)	2,600	220	2,700	380	2,800	300	2,900	450
決算値 (B)	2,663	282						
達成率 (B/A)	102.5%	128.5%						
(ご参考)前期実績 (平成23年9月期)	1,368	186	1,500	179	1,404	110	2,543	▲ 24
前年同期比	194.6%	151.7%						

(単位：百万円)

	第2四半期累計		通 期	
	売上高	経常利益	売上高	経常利益
予想値 (A)	5,300	600	11,000	1,350
決算値 (B)				
達成率 (B/A)				
(ご参考)前期実績 (平成23年9月期)	2,868	365	6,816	451
前年同期比				

(2) 単体

(単位：百万円)

	第1四半期会計期間		第2四半期会計期間		第3四半期会計期間		第4四半期会計期間	
	売上高	経常利益	売上高	経常利益	売上高	経常利益	売上高	経常利益
予想値 (A)	1,500	200	1,600	300	1,500	200	1,700	300
決算値 (B)	1,495	216						
達成率 (B/A)	99.7%	108.0%						
(ご参考)前期実績 (平成23年9月期)	1,361	203	1,422	216	1,292	130	1,383	▲ 15
前年同期比	109.8%	106.0%						

(単位：百万円)

	第2四半期累計		通 期	
	売上高	経常利益	売上高	経常利益
予想値 (A)	3,100	500	6,300	1,000
決算値 (B)				
達成率 (B/A)				
(ご参考)前期実績 (平成23年9月期)	2,783	420	5,459	535
前年同期比				